

【24】「未来を拓く心」を育てる支援活動の充実 (心のノート)(拡充)

平成20年度概算要求額:401百万円

(平成19年度予算額:247百万円)

事業開始年度:平成20年度

事業達成年度:平成25年度

主管課

初等中等教育局教育課程課 (課長:高橋 道和)

関係課

事業の概要

本事業では、教育基本法及び学校教育法の改正、「経済財政改革の基本方針2007」等を踏まえ、道徳教育の抜本的充実を行うため、すべての子どもたちに高い規範意識を身につけさせることを目指し、学習指導要領の改訂に伴い「心のノート」の全面改訂等を行う。

必要性

(事業の背景等)

中央教育審議会において、現在の児童生徒については、生命尊重の精神、自尊感情の乏しさ、基本的な生活習慣の未確立、規範意識の低下、人間関係を形成する力の低下など、心の活力が弱まっているとの指摘がなされている。

このため、生命を尊ぶとともに、いじめを許さないといった規範意識等の確立の根底となる道徳教育の抜本的な見直し・充実が求められている。

このような状況を踏まえつつ、現在、本年度中の学習指導要領の改訂に向け、道徳教育の内容・形式両面にわたる見直しを中央教育審議会において検討している。

本事業は、改訂後の学習指導要領の趣旨やねらいを実現する観点から、道徳教育の充実に資する教材開発等を行うことを目的とするものであり、「経済財政改革の基本方針2007」に示された「多様な教科書・教材を作成する」を具体化する施策の一つである。

(本事業に関連する提言 等)

「経済財政改革の基本方針2007 ~美しい国へのシナリオ~」(平成19年6月19日)

【改革のポイント】

2. 徳育を「新たな枠組み」により、教科化し、多様な教科書・教材を作成する。

【平成19年度中に学習指導要領などの改訂】

【具体的な手段】

(2) 心と体の調和の取れた人間形成

すべての子どもたちに高い規範意識を身につけさせる取組

徳育を教科化し、現在の「道徳の時間」よりも指導内容、教材を充実。

「社会総がかりで教育再生を・第二次報告～公教育再生に向けた更なる一歩と「教育新時代」のための基盤の再構築～」(平成19年6月1日)

提言1 全ての子どもたちに高い規範意識を身につけさせる

【徳育を教科化し、現在の「道徳の時間」よりも指導内容、教材を充実させる】

効率性

本事業は、道徳教育の一層の改善・充実を図る観点から、平成14年度より作成・配布している「心のノート」の全面改訂等を行うものである。

「心のノート」については、文部科学省で平成15年度に実施した「道徳教育推進状況調査」においては、小中学校ともに9割以上(小学校:97.1%、中学校:90.4%)の学校で「道徳の時間」の指導において、教材として使用されるなど、過去の実績からも高い活用状況が見込まれ、施策としての効率性は確保されると判断する。

有効性

(施策目標)

施策目標2-2 豊かな心の育成

(上位目的のために必要な効果が得られるか)

中央教育審議会等では、道徳教育について、指導が形式化して、実効が上がっていないこと、学年が上がるにつれ児童生徒の受け止めが良くなること等の課題から、重点や体系を明確にした道徳教育の内容の改善や発達に即した適切な指導が行われるよう改善を図ることが求められている。

本事業では、児童生徒が身に付ける道徳の内容をわかりやすく表した「心のノート」に一層の工夫改善を加えることとしており、本教材の活用を通じて、上記課題を克服し、児童生徒に対し、他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義観や公正さを重んじる心などの豊かな心の育成の実現に資するものと判断する。

公平性、優先性

徳育の充実については、「経済財政改革の基本方針2007」においても重要な柱の一つとして位置づけられており、中でも「多様な教科書、教材の作成」は徳育推進の具体的な手段として盛り込まれている。本事業では、児童生徒が身に付ける道徳の内容をわかりやすく表した「心のノート」を、学習指導要領の改訂に伴い全面改訂するものであり、政府として取り組むべき最重要課題の一つであると判断している。

18年度実績評価結果との関係

2-2-1「今後の課題及び政策への反映方針において、「子どもを取り巻く環境の変化、家庭や地域社会の教育力の低下、体験の減少等の中、生命尊重の心の不十分さ、自尊感情の乏しさ、規範意識の低下、人間関係を形成する力の低下など、子どもの心の活力が弱っている傾向があり、全小・中学生に「心のノート」を配布する」と記載されている。

広報計画

教育委員会関係者が集まる会議等において、全面改訂した「心のノート」の趣旨や内容等について説明を行う。

備考

本教材の開発・配布・趣旨普及等に要する道徳教育担当専門職も併せて定員要求を行っている。

「未来を拓く心」を育てる支援活動の充実(心のノート)

事業の背景

道徳教育の抜本的な見直し・充実が求められている。

児童生徒の現状・課題

生命尊重の精神、自尊感情の乏しさ、基本的な生活習慣の未確立、規範意識の低下、人間関係を形成する力の低下など

「経済財政改革の基本方針2007～美しい国へのシナリオ」(平成19年6月19日)

徳育を「新たな枠組み」により教科化し、多様な教科書・教材を作成する。



心のノート

児童生徒が身につける道徳の内容を分かりやすく表した教材(平成14年度より全小・中学生等に配布)

事業内容

新学習指導要領の改訂に併せ「心のノート」の全面改訂等を行う。

「心のノート」の全面改訂

学習指導要領の改訂等を踏まえ、「心のノート」を全面改訂し、内容を一層充実する。

「心のノート」の配布

現行学習指導要領の下での「心のノート」を昨年度に引き続き、配布する。

